

# 5

## 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



- ◆京都市が9年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るために作った施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。
- ◆9年間の来館者：23,684名（個人13,130名・団体10,554名）
- ◆9年間の保健医療相談：10,109件（電話相談8,677件）



◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

### 今回の情報 熱傷…

- 1位 電気・ガス製品  
(ホットプレート、炊飯器、電球等)
- 2位 暖房器具(ストーブ・ヒーター)
- 3位 食品(ごはん・粥)
- 4位 調理器具
- 5位 飲み物



京都市の0歳児事故調査アンケート1,578件の回答からやけどは4番目に多い事故で106件(6.7%)(その中に4例の冷却剤による凍傷も含め)です。家の中で身近に、どこでも起こる事故です。原因は家庭内の電気・ガス製品が39件(ホットプレート8件・グリル6件・炊飯器6件・電球4件など)、暖房機具が21件(ストーブ・ヒーターなど19件)、食品が16件(ごはん3件・おかゆ3件・カップ麺2件など)、調理器具が9件(鍋3件・フライパン2件など)家庭で毎日使っているものです。このほか飲み物(コーヒ5件・お茶2件など)もありました。

日常の食品関係で気をつけることは危険な物を手の届かない所へ置くことです。例えば台所用品は子どもの手の届かない場所に置くように心がける。発熱源には直接触れないように

カバーで覆う、台所では炊飯器・調理器具等は小さい子の手の届かない所に置くなど工夫しましょう。料理や飲み物類は移動中にこぼしたり、お鍋やお皿に手を入れるなどの事故はどこでも起こりますので、防止は難しいようです。凍傷は近年の冷凍食品の流行に伴って、ドライアイスによる事故例が増えています。ドライアイスは袋の中やケーキの箱に入って煙を出していたり、フローリングや板の上にはばらまかれると、小さくダンスをしているように見えるので、子どもは手でつかんだり、足で踏んだりします。手足にくっつくとな離れなくなり、重症化することもありますので注意して下さい。

### ワンポイント

火傷の原因がわかれば、危険なものを手の届かない場所に置くことで防止できます。また思いもよらない事故に電球に触れる、おつゆの鍋に手を入れる、カップ麺やコーヒ・お茶(熱湯)をこぼすなどがあり、これは不注意によるものです。ドライアイスなどによる凍傷や火のついた蚊取り線香は手元に置かないでください。

### 何をしているの？

- \* 来館者にはセーフティハウスの見学と家庭内事故防止について説明しています。
- \* 団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話をしています。
- \* 講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- \* 子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します(無料)。

### 場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町  
(第二赤十字病院南隣)  
TEL 代表 075-231-8002  
相談 075-231-8005  
FAX 075-231-8003  
<http://www.anshinkodomokan.jp>